

新潟とつながる。
世界とつながる。未来をつくる。

社会貢献活動 Social action program



キツネ平 どんぐりの森プロジェクト

長岡鉱場に近接する長岡市不動沢地区にて、2010年より地域の皆様と森林の保全活動を実施しています。年2回の活動を通じて地域交流と従業員の環境意識向上を図っております。また、生物多様性調査により多様な生物が生息する森林であることが確認されています。



こうした継続的な取り組みが評価され2025年に、環境省が定める地域生物多様性増進法に基づく「自然共生サイト」に認定されました。

石油、天然ガス開発は、見えない協働の積み重ね。
私たちは地下資源と向き合うと同時に、人と向き合い、地域と歩みをそろえて未来へ進みます。
この地域とともにあること。それがエネルギー開発の原点です。



画像提供：一般財団法人長岡花火財団

長岡花火

長岡花火オフィシャルパートナーとして「長岡花火」を応援。毎年正三尺玉を打ち上げ、長岡の夜空を彩ります。これからも地域への想いを強く抱き、支えています。



光の祭典

もみじ鑑賞の楽しめる紅葉シーズンに行われる越路地域の産業や文化が織りなす「光」のスポットを巡るバスツアー。越路原プラントもスポットの一つとして協力しています。

株式会社 INPEX JAPAN



本 社

〒107-6322
東京都港区赤坂五丁目3番1号赤坂Bizタワー
TEL : 03-5572-0200 FAX : 03-5572-0205

操業本部 東日本鉱業所 長岡鉱場

■ 事務所

〒949-5411
新潟県長岡市来迎寺甲2640番地8
TEL : 0258-41-3583

■ 越路原プラント

〒949-5411
新潟県長岡市来迎寺字原2943番地

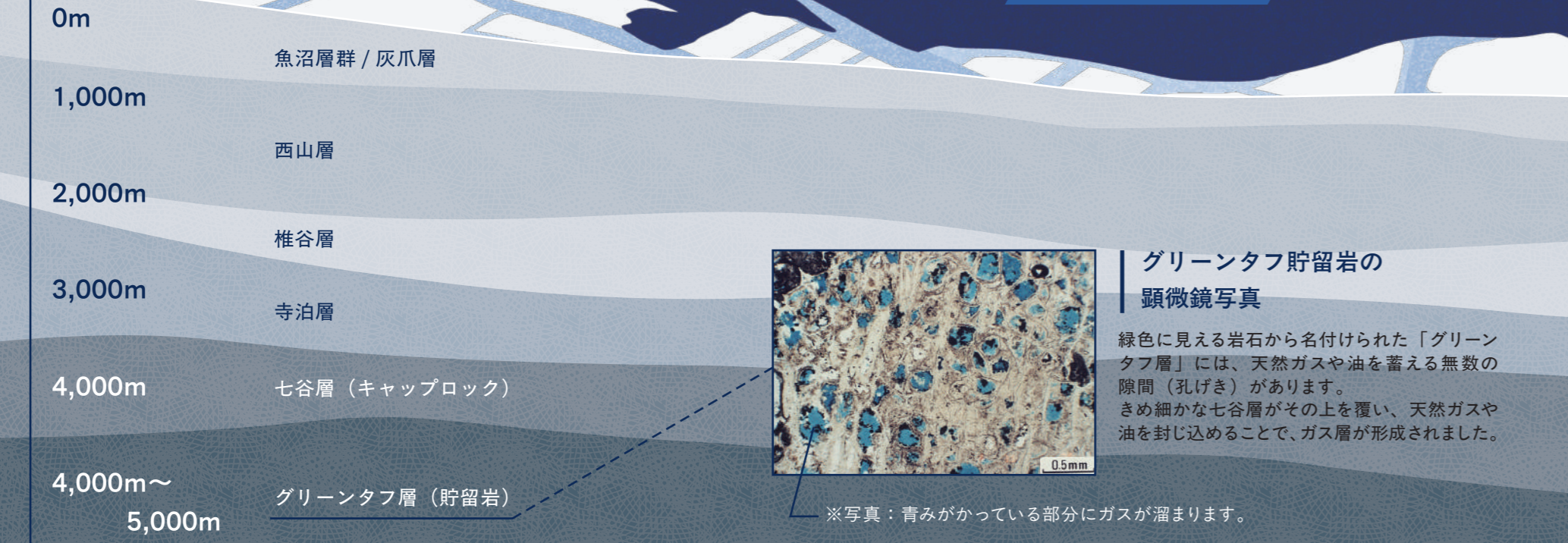
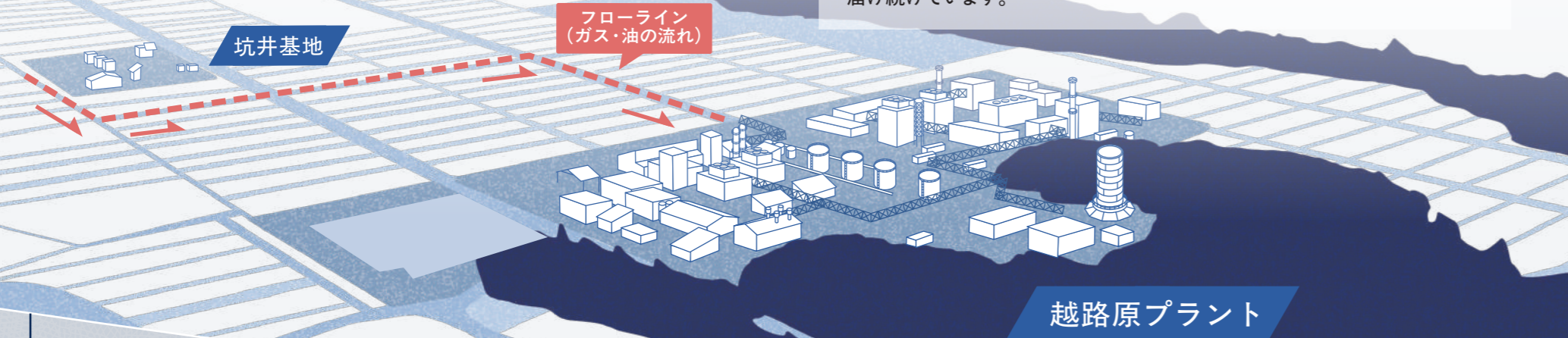
地球の力で未来へ挑む
INPEX

長岡鉱場ガイドパンフレット
Nagaoka mine brochure



生産量・埋蔵量 国内最大級 エネルギーの課題に まっすぐ応えていく

私たちは1950年代から、新潟で石油、天然ガスの開発に取り組み、1979年に南長岡ガス田を発見。試掘調査を重ねた結果、国内最大級の埋蔵量を誇るガス田であることが判明しました。
その後1984年に越路原プラント、1994年には親沢プラントが稼働し、国産ガスの供給網が大きく前へ進みました。
現在も24時間、365日の供給体制で、産業と暮らしに安定的にエネルギーを届け続けています。



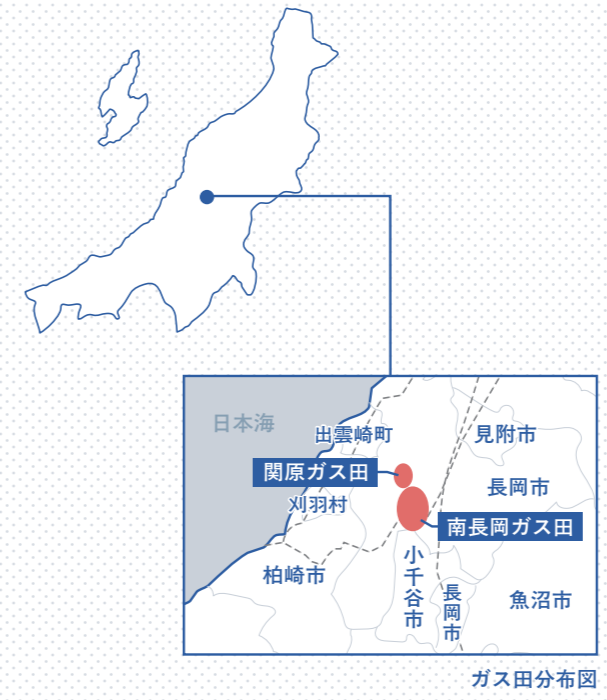
01 越路原プラント
 1984年から稼働しており、現在のガス処理能力は国内最大級の日量420万m³。天然ガスや油の生産に加え、発電事業も行う国内で類を見ない総合エネルギー拠点です。



02 親沢プラント
 伸び続ける天然ガスの国内需要への対応と、安定的な供給基盤を確立するため、越路原プラントに続き1994年より稼働。現在のガス処理能力は日量166万m³になります。



03 関原プラント
 南長岡ガス田の北方に位置する関原ガス田では、枯渇したガス層を天然ガスの地下貯蔵に活用。地下に天然ガスを圧入して貯蔵し、必要な時に供給できる体制を整えています。



04 坑井基地
 各坑井基地には、天然ガスや石油を採取するための坑井（生産井）があります。冬の豪雪に耐えられるよう、坑井は堅牢な防雪ハウスで保護されています。
 ◀クリスマスツリー



- 00 ...各プラント
- 00 ...坑井基地
- ...パイプライン
- ...高速道路

越路原プラント

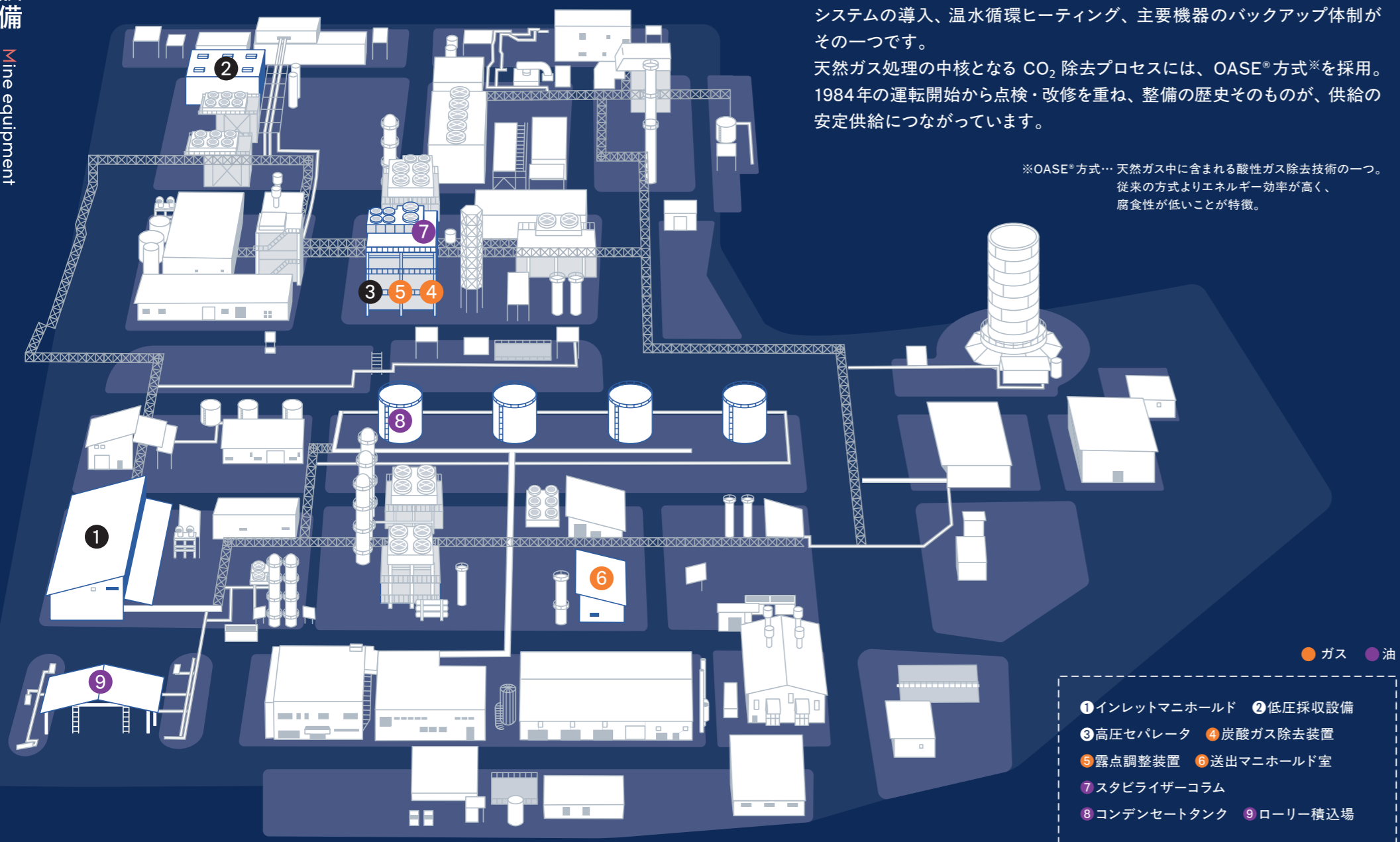
Koshijihara Plant

越路原プラントは、豪雪地帯という厳しい環境下でも 連続運転を実現しています。天然ガス・油の採取から発電までを一体で行う、国内でも類のない総合エネルギー拠点です。

安定稼働の背景にあるのは「選択枝の二重化」。コージェネレーションシステムの導入、温水循環ヒーティング、主要機器のバックアップ体制がその一つです。

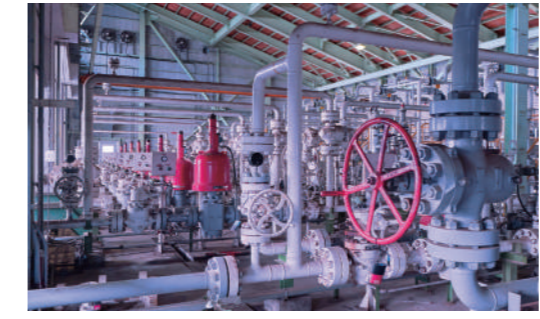
天然ガス処理の中核となる CO₂ 除去プロセスには、OASE®方式※を採用。1984年の運転開始から点検・改修を重ね、整備の歴史そのものが、供給の安定供給につながっています。

※OASE®方式…天然ガス中に含まれる酸性ガス除去技術の一つ。従来の方式よりエネルギー効率が高く、腐食性が低いことが特徴。



- ガス ● 油
- ① インレットマニホールド ② 低圧採取設備
- ③ 高圧セパレータ ④ 炭酸ガス除去装置
- ⑤ 露点調整装置 ⑥ 送出マニホールド室
- ⑦ スタビライザーコラム
- ⑧ コンデンセートタンク ⑨ ローリー積込場

各種設備紹介 Equipment Introduction



① インレットマニホールド
プラント周辺の坑井基地から送られてくる流体（天然ガスや油など）を集約します。



② 低圧採取設備
ガス田の圧力低下に伴い、生産量を最大化するために導入した設備です。



③ 高圧セパレータ
流体を天然ガス、油、水にそれぞれ分離させます。



④ 炭酸ガス除去装置
天然ガス中に含まれる二酸化炭素をアミン溶液を使用して、取り除きます。



⑤ 露点調整装置
天然ガスを安全にパイプラインへ送れるよう、冷却して露点を調整。パイプライン内での液体分の凝集を防ぎます。



⑥ 送出マニホールド室
精製・処理された天然ガスは、パイプラインを通じて都市ガス事業者などの各需要家へ送られます。



⑦ スタビライザーコラム
油をタンクローリーで安全に運搬できるように、加温し、蒸気圧力を調整します。

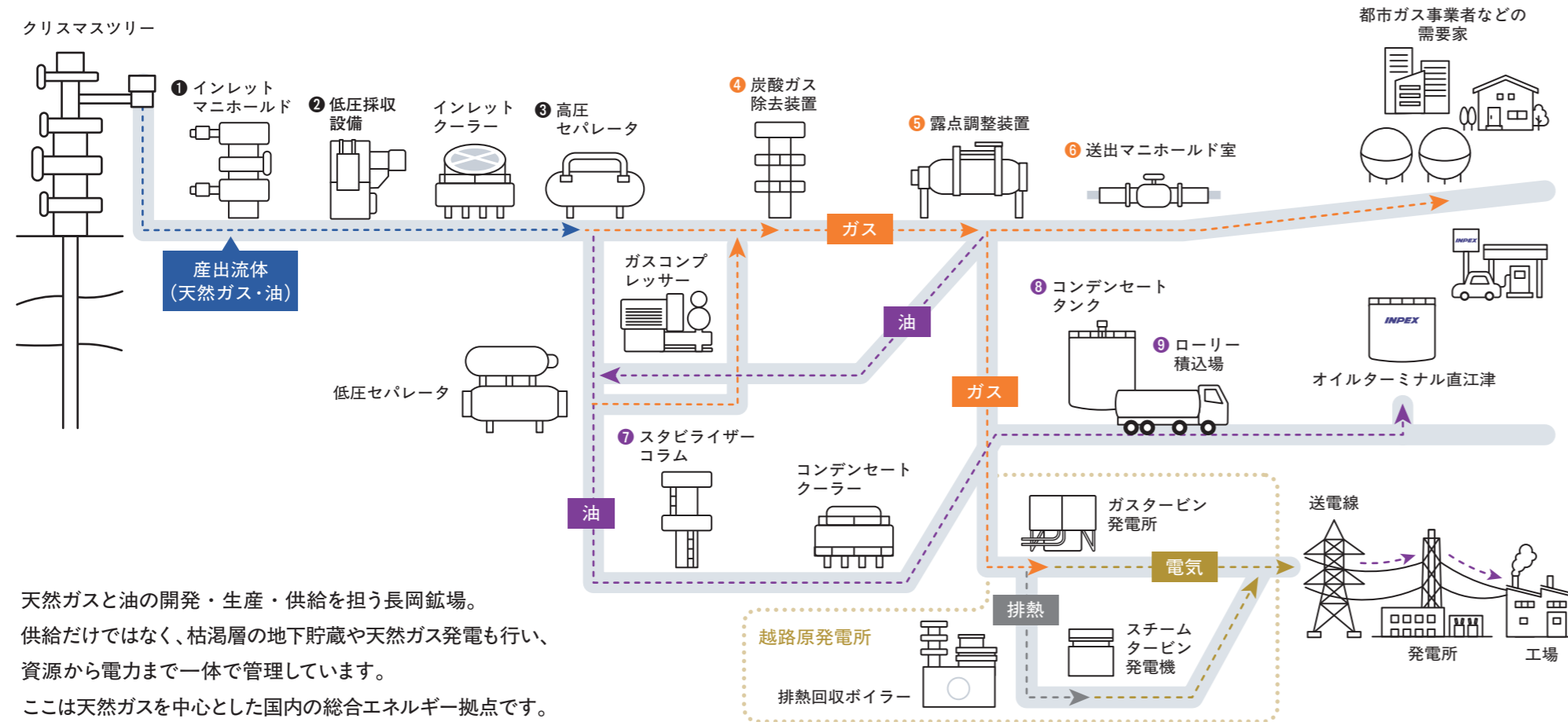


⑧ コンデンセートタンク
プラントで生産した油をタンクに保管します。



⑨ ローリー積込場
タンクローリーを使って油をオイルターミナルへ運びます。

産出流体(天然ガス・油)の流れ Flow of Produced fluids



天然ガスと油の開発・生産・供給を担う長岡鉱場。供給だけでなく、枯渇層の地下貯蔵や天然ガス発電も行い、資源から電力まで一体で管理しています。ここは天然ガスを中心とした国内の総合エネルギー拠点です。

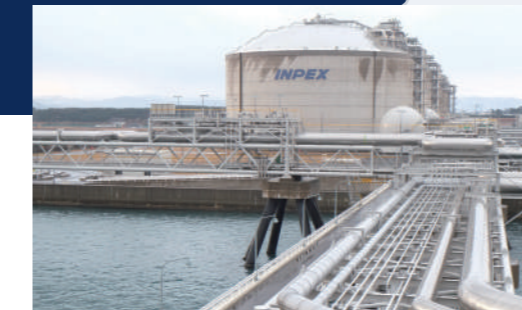
ガスパイプラインネットワーク

約1,500 km

新潟から～沖縄までの距離

長岡鉱場の天然ガスは、新潟県内の供給に加え、直江津 LNG 基地で気化されたガスと合流し、熱量調整された後、1都8県へ送出されます。人の暮らしや産業を支えるエネルギー網として休みなく機能し続けるパイプラインは、インフラをつなぐもう一つの生命線でもあります。

新潟で生まれた天然ガスの流れを、私たちは今日も「安全」と「安定」の基準で支え続けています。



直江津 LNG 基地

新潟県上越市の直江津LNG基地は、海外から運ばれてくるLNG受け入れや気化・熱量調整を行い、国産ガスとともに安定供給を支える当社の主要拠点です。



直江津 LNG 基地内

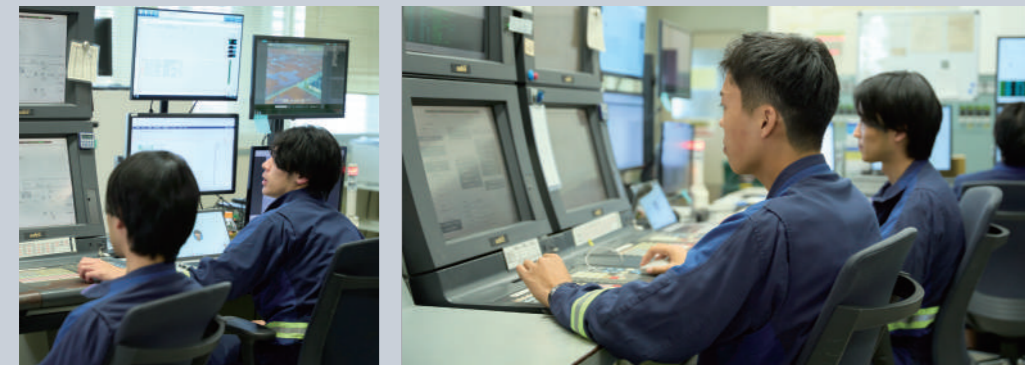
パイプライン監視センター

パイプラインネットワークの操業管理、監視・操作を行う施設です。



オイルターミナル直江津

信越地域を中心として、サービスステーションや皆様の元へ、ハイオクガソリンからA重油までの計6種の石油製品をお届けしています。



プラント制御室

24時間365日体制で管理

プラントの運転管理の全体を統括しており、基地内の機器はここで監視・操作されています。機器に不具合が生じた場合でも、代替機により供給が継続できるよう多重化された安全対策を講じています。